

令和6(2024)年度 北海道博物館アイヌ民族文化研究センター年度計画(案)

■ 資料の収集・保存

(1) 資料の調査・収集

令和5年末時点で未登録のものも含め、例年とほぼ同じ、もしくはやや多い件数を当館資料として新たに受け入れる見込み

巡回展等と連動した各地での資料調査、調査研究課題の中での資料調査を計画

(2) 文書・音声・写真資料等の公開

公開準備を終える資料 令和5年度に準じた件数を予定

資料の公開に向けた関係者との協議(承諾書の受領) 同上

■ 展示

(1) 当館総合展示内クローズアップ展示(クローズアップ展示3・4の2か所を主に分担)

クローズアップ3

- ・新しく仲間入りしたアイヌ民族に関する資料たち(4月15日～8月8日)
- ・「開発」とアイヌのくらしー消えたサノイベの集落ー(8月9日～12月18日)
- ・「北海道立アイヌ民族文化研究センター」の21年～開設30周年から振り返る～(12月21日～2025年4月)

クローズアップ4

- ・文字に記されたアイヌ語ーアイヌ自身によるアイヌ語の表記(1)ー(4月15日～8月8日)
- ・測量技師・川村カ子トと駅員・森竹竹市の活動(8月9日～12月18日)
- ・北海道博物館が所蔵するトンコリ(12月21日～2025年4月)

(2) 当館企画展(アイヌ民族文化研究センター職員が参画するもの)

- ・第10回特別展「みんなの鉄道」(7月20日～9月23日、小川(チーフ))
- ・第23回企画テーマ展「北海道のお葬式」(10月26日～1月13日、大坂・亀丸)
- ・第24回企画テーマ展「楽器 見る・知る・考える(仮)」(2月8日～4月6日、甲地(チーフ))

(3) アイヌ文化巡回展

- ・第18回アイヌ文化巡回展(広尾町)

■ 調査研究(アイヌ民族文化研究センター職員が参画・実施する予定の調査研究課題)

(1) アイヌ民族文化研究センターが主体となって立案し実施する研究プロジェクト(2件)

- ・「北海道博物館収蔵資料の整理・分析に基づくアイヌ文化資料の活用と総合的研究」
- ・「アイヌ文化に関する基礎的・総合的・学際プロジェクト」

※いずれも2020～2024年度(5年間)。

(2) 北海道博物館全体で取り組む海外との共同研究等のプロジェクト(2件)

- ・「北海道とサハリン(仮)」(サハリン州郷土博物館との共同研究)
- ・「寒冷地の自然と適応」(カナダ・ロイヤルアルバータ博物館との共同研究)

(3) 北海道博物館全体で取り組む「樺太記憶継承事業」

(4) 外部資金(科研費等)を活用した調査研究 2件

- ・博物館収蔵アイヌ民具資料の考古学的手法による分析:移入品としての漆器を対象として(大坂、科研費・基盤C、2022年度～2025年度)
- ・考古学的手法を導入した移入品アイヌ民族資料の基礎的研究ー耳飾りと首飾りを題材に(亀丸、科研費・基盤C、2023年度～2026年度)

■ 教育普及事業

(1) 冊子等の作成・配布

- ・アイヌ文化紹介小冊子(巡回展会場で随時配布、学校等の求めに応じ随時送付)など

(2) 行事

[ミュージアムカレッジ] (※講話タイプの講座)

- ・オンラインで楽しむアイヌ語〈初級編〉〈中級編〉(10月)
- ・お葬式に関する「モノ」から読み取るアイヌ民族の近代(11月)
- ・アイヌ語アイヌ文学のお話(仮)(12月)

[子どもワークショップ] (※子ども向けの参加型行事)

- ・シカ笛をつくろう！(2月)

[ちゃれんがワークショップ] (※子ども～大人向けの参加型行事)

- ・はじめての「トンコリ」体験(同じ内容で4回開催)(2月、3月)

[アイヌ語講座]

- ・アイヌ語講座「アイヌの講座～きほんのキ～」(全4回)(5月～7月)

[特別イベント]

- ・レクチャー&コンサート「じっくり聞こうアイヌ音楽」(7月、講師：スルク&トノト)
- ・アイヌ音楽ライブ「マレウレウコンサート」(11月、出演：マレウレウ)

(3) 団体対応

グループレクチャー(見学団体向けの15分程度の講話)のうち、
「アイヌ文化の世界」をテーマとしたレクチャーについて、随時対応

■ 博物館ネットワーク(国立アイヌ民族博物館ネットワークとの連携等)

- ・令和5年度の各委員等を継続の予定

■ 情報発信・広報

- ・当館ウェブサイト内の「アイヌ文化を学ぶために」のページ及び「ほっかいどうアイヌ語アーカイブ」の改修
- ・当館広報誌「森のちゃれんがニュース」の「アイヌ民族文化研究センターだより」等
- ・レファレンス：随時対応

■ 人材育成機能の強化と社会貢献

- ・各種委員・共同研究員等への就任、非常勤講師への就任、依頼講演(講座・講演会)等への職員派遣、外部刊行物等への執筆協力：随時必要性等を踏まえ対応。令和4、5年度と同程度の件数となる見込み

■ 研究成果の発信

- ・当館研究紀要への発表(『北海道博物館アイヌ民族文化研究センター研究紀要』10号刊行)
- ・学会等での発表、外部の学術雑誌等への発表

※いずれも、年度当初に研究計画を検討し、これらに基づき実施予定